

文化

4

立川と語ろう 立川に生きよう
April 2005
écoutez bien Vol.23 No.245



抗ストレス効果の ビタミンCを含む果実

【キウイフルーツ】

秋実ったキウイフルーツは、保冷庫で追熟されて店頭に並び初夏までビタミンCを補ってくれる。秋に室へ入れられたウドも、野菜の端境期に舌を楽しませてくれる。どちらも立川が産んだ貴重品。

「クレープの中身を皮で包み込んでしまうのと見えるのとどちらがいいかしら」と言いながら、手元はさっさと動く須田校長。どっちがいいかなんて考えている間に、上品なクレープ キウイソースのできあがり。

中身にはあっさりとうどでヨーグルトであえた果物が入っている。甘酸っぱいキウイソースが食後の口をさっぱり仕上げる。昨秋取材したキウイをこの時期に味わう。なぜか春の味になるから不思議。旬のイチゴと色合いもよく、ごちそうデザートには欠かせない。



須崎雅義さん
(幸町)

立川の地はなんでも作れるというが、名産といえはなんといってもうど。単独で生産組合のある野菜は他にない。東京うど生産組合連合会副会長の須崎雅義さんのうど室へうかがった。幸町にある広い土地にいくつもの室を持つ。先祖代々300年、うどは自分の代から始めてもう40年になる。「品評会の後で、みんな切っちゃったからいいうどは無いよ」とおっしゃるが、生暖かい室の中にはニョキニョキと白いうどが生えている。根は外の畑で作り、室に入ってからはその根の持つ力だけで育つ。石づきを除けば皮まで全部食べられるからムダがない。



ウドの品評会で
2月16日中央公民館

「うどはね、色が白くてキメ細かくて、背は高からず低からず、まっすぐ伸びたスタイルのいいのがいいんだよ」と、なにやら誰そのことを言ってるような。「だからね、短茎には大江戸美人ってつけたの」。なるほど。

調理指導：須田享子（日本クッキングスクール）

写真：五来孝平

●クレープ キウイソース

春を告げるさわやかな一品

レシピ

材料（4人分）

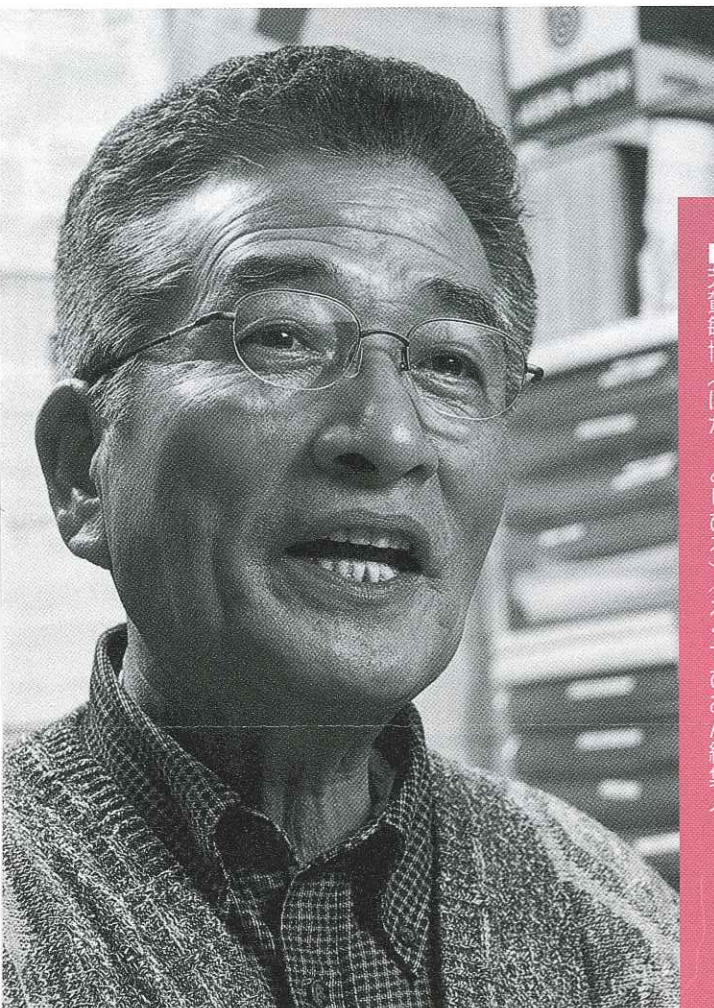
- | | | |
|---|------------|----------------|
| a | 薄力粉 40g | ファイリング |
| | 砂糖 大さじ 1/2 | プレーンヨーグルト 100g |
| b | 塩 少々 | 生クリーム 1/4 カップ |
| | 卵 1個 | 砂糖 大さじ 2 |
| c | 牛乳 120cc | キルッシュ 少々 |
| | バター 10g | パイナップル（缶）2枚 |
| d | キウイソース | 苺、キウイフルーツ適宜 |
| | キウイフルーツ 2個 | |
| | 水あめ 20g | |
| | レモン汁 少々 | |

作り方

- 薄力粉は2回ふるう。
- ボールに(a)を混ぜ、(b)を合わせたものを少しずつ泡立て器で混ぜ入れ、溶かしバターを加えて裏ごし、冷蔵庫で30分以上おこなせる。
- (c)のキウイフルーツは皮をむいて薄切りにして裏ごし、水あめ、レモン汁を加えてよく混ぜる。
- フライパンを熱し、薄く油を引き2の生地を流して薄く4枚焼く。
- ボールに生クリーム、砂糖を入れ、泡立て器でホイップしてヨーグルト、キルッシュを混ぜる。
- (d)のフルーツ類は小角に切る。
- (5)と(6)を混ぜ合わせて、1/4量をクレープにのせて包み器に盛る。上にフルーツをのせ、キウイソースをまわりにかける。

※ブルーベリー、バナナ、オレンジ、カスタード、チョコレートクリームなどお好みのクレープを。

おやし 親父たち、子どもに姿を見せよう!



於：柴崎町の会社事務所で 写真：五来孝平

男ばかりで校門に立ち朝の挨拶

佐藤 和義さん

■佐藤和義（さとう・かずよし）昭和20年生まれ。実家は富士見町だが結婚して妻の実家の柴崎町の工務店を継ぐことに。母校でもある市立一中はすぐ隣。4年前から青少年健全育成柴崎町地区委員長をつとめ、平成14年から月に一回、一中の校門前で朝の挨拶をする運動を始める。仕事着姿の親父たちの姿はテレビでも紹介され、昨年「心の東京革命推進モデル」として都知事から表彰された。

■芳賀敏博（はが・としひろ）／えくてびあん編集人

それも男ばかり、しかも仕事着でというのがおもしろい。

佐藤 小学校では前から朝の挨拶に立ってくださる方がいましたし、男たちでやるなら年代的にもむずかしい中学校にしよう。仕事着姿というのは朝の忙しい時間、その方が出やすいだろうということなんです。私は工務店の作業服だし豆腐屋さんは白いゴム長姿、サラリーマンならパソコンを入れた鞆を持って、終わるとみんなそのまま仕事に行きます。最初は自分たちで互いの格好を見て笑ってしまうし、生徒たちも「どこの変なおじさんが来ているんだらう」とよけて通りましたよ。それを追いかけて「おはよう！」（笑）。それでもそのうち慣れてくるんですね。子どもたちも、あのおじさんはPTAの会長、この人はあの店のおじさんとわかって、街で会っても挨拶してくる。毎月一回でも立ち続けて三年経つと定着したかなと思います。最初はひどいものでしたから。

芳賀 そうそう、地域の大人と子どもたちが顔を知っているということって、実はとても大切なことじゃないかと思えます。特に今の子どもたちは父親と接する機会が少ないでしょ。男の仕事着で学校の前に立つ佐藤さんたちは、父親ではなくてもそれに似た存在なんだろうな。

佐藤 父親と子どものふれあいは少ないですからね。朝校門に立っていると中学校の全生徒と顔を合わせますからすごいですよ。そういう私も若い頃は仕事ばかりで子育てから逃げていたところがあります。しかし自分の経験でも父親が役割を果たさなければならぬ場面が必ずある。人生の岐路に立つ肝心なところでは、やはり父親なんです。校門と一緒に立っている仲間にも中学生の子どものいる人たちがいて、

最初は子どもが嫌がりますが、そういう子どもさんはたいてい明るいんです。昔は多くの兄弟の中でもまれて世の中のしくみを体で覚えたし、家庭に問題があっても周囲にそれを吸収してくれる人や場所がありました。今の時代に地域の親父たちが出ていく意味はそういうことなんじゃないかと思えますね。特に挨拶は基本中の基本。生きて行く上で必ず必要なものですから。

芳賀 少年による凶悪事件とか、小さな子どもが犠牲になる犯罪とかが大きな問題になる時代だから、なおさらですね。

佐藤 「さわやかあいさつ運動」や、子どもが事件に巻き込まれそうになったときに駆け込める「子ども110番」といった事業自体、大阪・池田小学校の事件をきっかけに始まったんです。「子ども110番」事業は4年経って、さいわいその間に実際に子どもが駆け込むようなことはなく関心も薄れているので、地域の小学生を集めてウォークラリーをしようと準備をしていたところに寝屋川の小学校侵入事件が起きました。子どもたちにとって本当に難しい時代ですね。子どもを護るために学校の警備を厳重にするとか、子どもを外で遊ばせないということになるのでしょうか。子どもが安心して外で遊べる環境が理想的だし、柴崎町でいえば一小にしろ一中にしろかつてはコンクリート壁で囲んでいたのを生け垣やフェンスに変えたのは開かれた学校を目指したからですよ。それがこういう事件でまたコンクリート壁で囲うようになったら、仕方がないことなのかもしれません。寂しいことですよ。

芳賀 そういえば、僕らの小さい頃は学校から帰るとみんな外で遊んでましたね。それを思えば、子どもたちをめぐる環境も子どもたちも変わってしまったのかもしれない。

佐藤 私は富士見町の材木屋の七人兄弟の末っ子でしてね。小さい頃は暗

くなるまで家になんか帰らないで遊んでいました。農業試験場のあたりまで遠征したりしましたね。一中は母校ですからボロボロの木造校舎の頃を知っていますし、一番下の娘が卒業する年にはPTA会長をさせていただきました。なんとといってもすぐ隣ですから、雰囲気その年は落ち着いているか、何かザワついているか分かるんですよ。一時期の荒れる学校の頃と比べると、今は静かだし、先生たちにうかがっても学校は落ち着いているとおっしゃる。でも、今の子どもたちの静かさというおとなしさは、表面に見えてこない分、何か気味が悪いような気もするんです。

芳賀 子どもの問題というのは永遠の課題でもあり、時代とともに日々変化しているものでもありますからね。昔は良かったというような感傷や決めつけでは対応できないし、やっぱり目の前の子どもたちときちんと向き合うしかないんでしょね。その意味でも、校門に朝立って挨拶を続ける親父たちの役割は大きい!

佐藤 学校も変わってきていますよ。PTAなんかでもお父さんばかりの集まりがあったり、私も呼ばれて生徒たちに話をしましたが、実社会で仕事をしている大人が子どもたちに自分の仕事に関することを教える授業もあるんです。中学生とはいえ近い将来実際に社会に出る。受験勉強をしていればいいというのではなく、実社会ではどういう仕事をしているのかを聞いて自分が行きたい方向、打ち込めるものを見つけていくことも大事だと思いますね。青少年の育成は学校や行政、地域、家庭が一体になって取り組まなければならないことです。一中校門前のあいさつ運動にもPTAはじめいろいろな方に参加していただいています。柴崎町は伝統ある街の結束力というか、協力体制をすぐに作っていただけるのがありがたい。自分たちも楽しく明るく、これからも続けていきたいですね。

芳賀 こんにちは! 佐藤さんのお宅兼会社の磐城工務店は本当に一中のすぐ隣なんですよ。その校門前に月一回、仕事着姿の親父さんたちが立って生徒たちに朝の挨拶をする運動を続けているとか。この運動が東京都が進めている「心の東京革命」平成15年の推進モデル地区に選ばれ、昨年都知事から表彰もされました。今は女性も参加されているんですけど、男ばかりで始められたのは何か理由があったんですか。

佐藤 きっかけは平成14年1月、青少健(青少年健全育成柴崎町地区委員会)の新年定例会後の飲み会なんですよ。定例会というのは堅い話が多くて言いたいことも言えないことがある。それで

定例会の後はいつもの男ばかりで一杯やりながら和気あいあいと話をします。これを第二定例会と呼んでいるんですが(笑)、そこで前年打ち出された立川の「さわやかあいさつ運動」に柴崎町地区としてどう取り組もうかと。朝の時間というのは女性はとにかく忙しい。じゃあ男だけで始めようかということになったんです。それが1月11日で、15日にはもう第一回。その時、女性たちにはしばらく内緒しておこうということにしたら本当に誰も言わなかったんですね。女性たちが知ったのは1年後くらいでした。

芳賀 ひよんなことから始まったにして、続けることはすばらしいですよ。

ザ・クレストホテル立川	錦町1-12-1 521-1111
美容室 アリス	錦町1-15-21 525-1100
パンと洋菓子 うちのやブルマン	錦町1-18-7 524-9280
そば処 そば 菜	錦町1-20-15 522-7558
画廊 無門庵ギャラリー	錦町1-24-26 529-2323
駄菓子・ファンシー むぎばたけ	錦町2-1-1 526-0210
美容室 FALCO	錦町2-1-10 528-2389
諸宮公行御用達・日用雑貨 池田屋	錦町2-1-10 522-3731
手打ち 更科もとおか	錦町2-1-27 528-2345
しゃぶしゃぶ・鍋料理 しゃぶ・りん	錦町2-1-33-3F 527-2228
スペイン料理 TAPAS	錦町2-2-29 529-0733
Bakery Cafe Crown	錦町2-4-2 526-2226
三田 花店 本店	錦町2-5-23 524-4187
(有)朝日屋 酒店	錦町2-6-12 525-6333
にしやま 薬局	錦町2-7-8 525-9212
パスタの店 パセリ	錦町3-1-21 525-8486
アミューたちかわ	錦町3-3-20 526-1311
多摩中央信用金庫 錦町支店	錦町3-6-9 528-0511
そば処 高尾亭	錦町5-5-31 522-2710
Natural Food Restaurant シェいなば	錦町5-19-9 529-5921

えくてびあんの輪
立川と語ろう 立川に生きよう
えくてびあんは
リストのお店にいつもあります
今月は 錦町・羽衣町・柴崎町のお店です。

錦町	レストラン ラ・ボボラリータ	錦町6-9-25 527-3880
	高齢者総合施設 至誠ホーム	錦町6-28-15 527-0031
	韓国居酒屋 木浦館	羽衣町1-18-1-1F 527-3006
	多摩中央信用金庫 東立川支店	羽衣町1-19-6 524-0611
	Cake Studio 35	羽衣町2-6-1 527-6808
	林 歯科	羽衣町2-7-10 522-5657
	中島 豆腐店	羽衣町2-12-34 522-5732
羽衣町	フレッシュフルーツ 立川商店	羽衣町2-30-6 522-3565
	化粧品 OZAWA	羽衣町2-31-1 522-3749
	本・事務用品 泰明堂	羽衣町2-31-1 522-3353
	文具の ないとう	羽衣町2-33-1 522-3677
	テラー 安武	羽衣町2-33-11 522-4820
	株式会社 西友 西国立店	羽衣町2-40-1 524-5101
	赤松 タバコ店	羽衣町2-42 524-7852
	まごころ銘茶 狭山園	羽衣町2-45-1 527-0146
	蕎麦処 かめ井	羽衣町3-2-17 524-8101
柴崎町	パスタビーノ はしや	柴崎町2-1-6-B1 521-3386
	明誠 書房	柴崎町2-1-11 523-6700
	味乃 寿司 由	柴崎町2-2-8 522-3733
	株式会社 一心堂	柴崎町2-2-16 527-3777

お菓子とパンに思いをこめて

国際製菓・立川菓子祭り2005

モノレール立川北駅近くに昨年開校した国際製菓専門学校が総力あげて行う年に一回の大イベントが、卒業時期を前に開く学園祭だ。

2月5日～6日の会期に併せて行なわれた卒業作品展には180点の傑作が並んだ。

作品に込められたパティシエ、ブーランジェの卵たちの夢。

写真：五米孝平



「この一手で作品の善し悪しが決まってしまうという最終段階になると、生徒の手がとまってしまうんですよ。じっと作品と対座して放心したようになります。それはもう、長い時間考え込んでしまう子もいますよ。そういう姿を見ると、いじらしくてねえ……」と目をまっ赤にして話す岩永恵治先生。今回の学園祭 教職員実行委員長だ。自ら長い菓子職人としてのキャリアをもつ。いつの時代もお菓子は人に夢を与える。夢や希望を人々にふるまう仕事だからこそ、辛抱を要する過酷な職業でもある。

学校内には部門ごとに個性豊かな作品が展示。甘い香りも漂って、お菓子の城のようなになる。思い思いのウエディングケーキ、ファンタジックなマジパン細工、ガラスと見まがうようなあめ細工、重量感あふれるチョコレート細工など、見ていてあきることがない。

第二会場の高島屋には、パンで描かれたミレーの「落ち穂拾い」をはじめ、いくつものグループ作品が展示された。学生手作りのお菓子やパンが地下の即売コーナーで販売され、お目当てのお客さんが長蛇の列、販売コーナー担当の学生は先生から「くれぐれもお客様に失礼のないように」と念を押される。学園祭も社会に出て行く学生にとっては心構えを習う場。プロの厳しい世界に入るのだということを身をもって知らされる。

入学してきたときにはお菓子の事は何も知らない学生たちが毎日毎日何種類のお菓子やパンを作り続けることで、手が菓子作りの基礎を覚えていく。作品の華やかさの裏側にある地味な鍛錬。巣立って行く卵たちにエールをおくりたい。



立川と多摩地域が
もっと楽しいホームページ

多摩ではこ
ネット

http://www.tamabako-net.ne.jp/

多摩ではこネット編集工房
〒190-0012 立川市曙町3-4-3 武蔵ビル2F
tel 042-548-9606 fax 042-548-9609
e-mail message@tamabako-net.ne.jp

常楽我浄

真如苑提供番組くじょうくがじょう

スカパーフェクトV 216ch、マイテレビ 84ch

土 曜 午前9時～9時15分
午後7時15分～7時30分
再放送/火曜 午前9時～9時15分
午後7時45分～8時
放送時間は予告なく変更する場合がございます。

立川に育てられて六十九年

真如苑

柴崎町1-2-13 Tel. 527-0111(代)

URL http://www.kami.co.jp/

紙

資源を活かし
文化を継承

株式会社 立川紙業

☎042(527)6111 内線 FAX.042(528)0080
〒190-0023 立川市柴崎町2-7-6
配送センター ◆ ☎042(560)2311

私たちは「と」のための会社です。

人と人、企業と企業、企業・商店とお客さま……
いろいろなコミュニケーションがあります。
私たち大廣社は、この「と」を的確に、迅速に、効果的に、
行なっている会社です。

と

大廣社は、企画デザインから
印刷加工までを自社で行っています。

PLANNING・DESIGNING
PROCESSING・PRINTING
☎大廣社
042-527-1911
〒190-0022
東京都立川市錦町5-17-13
FAX.527-1949
E-mail info@daikouya.jp

えくてびあん流

新緑の立川は<春わく>

4月24日 国営昭和記念公園などで「みんなの音楽祭」

今年も新緑の立川が音楽に染まる。市民の手作りの音楽イベントとして国営昭和記念公園など市内で繰り広げられる「たちかわみんなの音楽祭」。その第一弾となる<春わくわく>が4月24日を中心に開催される。

立川市内、周辺の多摩地域で活動している音楽団体・グループが主体になり、運営は市民ボランティア、地域の団体、企業が協賛して開いているこの音楽祭。今年も、

昨年のたちかわみんなの音楽祭



開催に向けて準備が大詰めを迎えている。

4月22日に市民会館アミューたちかわ大ホールで開く交響曲第九「合唱」を皮切りに、メインの24日には入園無料日の昭和記念公園みんなの原っぱ・メインステージをはじめ、公園内のそこそこで、午前から夕方まで多彩な演奏が行われる。国立音大生によるクラシック、自衛隊による吹奏楽、ダンス、合唱、カントリー、エレクトーン、カラオケ……。立川駅周辺のデパート前などでもライブ演奏がある。

昨年の来場者は約3万5000人。「文化によるまちづくり」を目指す立川市の市民によるイベントとして定着してきた。今年はどうな演奏が春のまちを彩るか—4月最後の日曜日は、ぜひお出かけを!

この人この店 ②

鳥料理 くし秀

森岡 直さん

立川で創業40年、大山地鶏の美味しさを存分に味わわせてくれるのは、立川駅南口にあるくし秀。その日の朝に生きた鳥だから鮮度は抜群、お刺身も食べられます。備長炭の火を操るような職人技。焼き上がった串焼きが美味しくないはずがない。コクがあるのに表面に油が全く浮いていない地鶏のスープ。中はふんわり、外はここまでカラッと揚がるだろうかというせんざん切(唐揚げ)。オーナー田坂富雄さんのおじいさんが生み出した若足は、鳥の味を堪能できる一品、カリッ、ふわっ、ジュワッという食感がたまりません。威勢のいい「いらっしゃいませ」の声、きびきびした動き。まだまだ勉強していきたいというオーナーの思いを現場スタッフがしっかり受けとめていることがわかります。高級感をそなえていながら親しみやすい、くし秀を知っていると自慢できるかも。



看板メニューの若足(手前)は忘れられない味



〒190-0022 立川市錦町1-2-3
TEL 042-522-7692
予約、問い合わせは森岡さんへ
http://www13.ocn.ne.jp/~tasaka/
営業時間 平日 17:00～22:45
日曜・祝日 16:30～21:30
定休日 不定休

写真: 五来孝平

たれゆえぐさ ②
タチカワ誰故草

「詩人に収入をきくな」

森 忠明

所得申告の時期になると、私はあのセリフを用意する。「毎日、研究しとる」。

昭和三十七年、人間国宝の詩人・高野松山氏は、その年の全収入を誰かに訊かれたとき、昂然たる口調で、「二万円のみ。しかし、(素材の)ハマグリを覗んで半年。毎日、研究しとる」と答えた。生来、手続きの能力に乏しい私は、申告書類への書き込みを全て妻まかせ。一度も自分で記入したことがない。「これだけ?」。

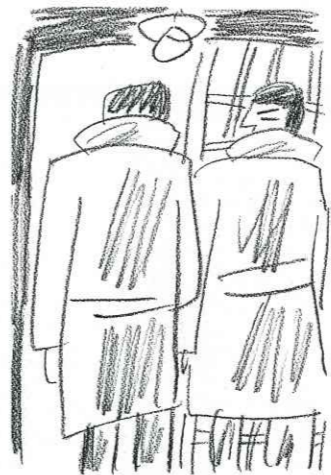
五、六枚の支払調書をながめつつ妻は言う。本当は「これっぽっち」と嘆きたいのだから、夫のプライドを多少は尊重しようとしていいらしい。

「ニンゲンを覗んで一年、毎日研究しとったら、それだけ」。

昂然たる面持ちで答えたところだが、人間国宝ではない哀しさ、やや力無げ、やや卑屈なニュアンスになってしまふ。そこで黙っていいばいのに、照れ隠しに喋ってしまう。「名声消さず為事せぬ人アマリリス……中村草田男」。

もし妻が「あなたに名声なんてあったの」とかぬかしたら離婚を考へるけれど、慰謝料も取れない男とは別れてくれないだろう。「詩人に収入をきくな」は、わが師寺山修司の、いささか泣かせる名言と思われぬ。

「森くん、いつもタウン誌ありがとう。あれで読むと君は伊勢丹や



挿画: 野崎義成

ホテルで、おいしいものを食べて、過剰消費に対する対抗エネルギーが小さいようだし、ああ、あの三億円をまだ使いきっていないだなあとも知りました。

右の手紙は高校同窓の栗原栄司(アメリカで数学博士号取得)より最近届いた。奥さんに逃げられたのに、あの三億円なんて冗談を書けるんだから大丈夫か。

若い日の私の顔が三億円強奪犯人のモニタージュ写真に似ているとかで、ずいぶん長いこと悪友どもにからかわれてきた。「たいして本もだしてない森が妻子を餓死させてないのは……やっぱりねえ」とかなんとか。

東京、京都、函館で、ガードマンやタクシードライバーが射殺される事件が起きたのは一九六八年十月。その頃、寺山修司のところまで吟遊詩人をきどっていた二十歳の私は疑われて、自宅に二人の刑事がきた。無二の親友だった有明昭一良(故人)も調べられ、珍しく怒っていた。「官憲から身を守るために日記をつけといたほうがいいよ、アリの記録をね。いつ不当逮捕されるかわかりやしない」。

聖人は俗(警吏&税吏)に従う、と林羅山も言っているし、リスクコントロールのつもりで三十余年間、一日も欠かさず日記をつけてきたが、昨今やたらと増えた監視カメラに犯罪現場不在証明を肩代わりさせようか。私は「寒心カメラ」と呼んでいるのだが。

表紙の人

原田 義道さん(国立市石田)

お住まいは国立市、とはいえ狭い道の向かいには錦町。買い物をする近くの羽衣商店街でもおなじみだ。それだけではない。いまや日本国中の高齢者の星である。テレビや雑誌、新聞で何度も取り上げられているからご存知の人も多いはず。一昨年、83歳で明星大学経済学部合格。御歳85歳のこの4月、3年生に進級する。愛用の自転車とモノレールを乗り継いで毎日学校に通う。自炊しながら予習復習を欠かさず、講義にクラブ活動の書道と学園生活を満喫し、ときに孫のような学生に自らの戦争体験を語り、人生相談にもなる。常に前向きで楽しみ学び続ける。それも自然体で。人生の達人とはこういう方だ。

根川緑道で 写真: 細江英公

かたこと

毎年のことながら彼岸を過ぎると風景の変化に驚かされます▼冬枯れの中に市の花でもある辛夷(こぶし)の白い花が咲き、桜が桜色のヴェールを掛け、やがて樹々が芽吹きから新緑へと移っていく。ツツジ、ボビイ、ユキヤナギと花も多彩に続きます。自然はまことに偉大です▼春たけていく四月は、入学進級の季節。若々しい青春にふさわしい。それは物理的な年齢ばかりでなく心の若々しさなのだ、今月の表紙、85歳の大学生・原田義道さんは教えてくれます▼VIEWでご紹介している菓子職人の那須君も新しい職場に入ったころ。甘いものを扱うけれど甘くはない世界。若いエネルギーと感性で羽ばたけと声援を送ります▼新入生も健やかに育て! 毎月、仕事着姿の親父たちが中学校の校門に立ち挨拶を続ける。対談させていただいた佐藤和義さんたちの活動も心の若々しさがなければできないこと▼くげんき産直>にご登場いただいている立川の農家のみなさんもこれからが忙しい農繁期。子どもを育てるのは農家の方たちが作物を育てるのに似ているのかもしれない。どちらもある適切な時を選んで適切に手をかけてやる▼畑の芽生えも木の幼木も幹太い老木も、新緑の若々しさはみな同じ。大きければ大きいように幼ければ幼いなりに、ともに育っていく。えくてびあんも潤澤としてありたい春です。本号はいかがだったでしょうか。(芳)

スタッフ

編集 大久保清志/清水恵美子/中瀬子
デザイン 池田隆男(WATER DESIGN ASSOCIATES)
AMNET design factory
写真 五来孝平

えくてびあん ④ 4月号

第23巻 通巻245号
平成17年4月1日発行
発行 えくてびあん編集工房
〒190-0012
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
編集人 芳賀敬博
発行人 加賀悦也
印刷 (株)大廣社

無断転載を禁じます。

風の上から

写真家 石崎幸治 の
昭和記念公園

3



地上約5mのポール上からのホビーを撮る。ふだんと違う視点で異質な感覚。

風が吹かないときは
ポールを使つて

小枝が揺れるくらいのもので風を揚げられるようになった。しかし当たり前だけれど、風は風が吹かなければ揚がつてくれない。そんなときスゴと帰つて来るのは悔しいので、棒の先にカメラを付けて高い位置から撮影してみることにした。

長い棒というと竹竿や旗竿を思い浮かべるが、持ち運ぶことを考えると軽くて短くなる物を選びたい。いろいろと搜してみると磯釣り用の玉網ポールが最適だということがわかった。

多少重量がある一眼レフカメラを付けても、グラスファイバー製のポールはしなないながら地上5mの高さに持ち揚がった。シヤッターを切るたびに下げたり上げたりちよつと忙しいのをがまんして、セルフタイマーを使う。

結果をすぐに見たいのでデジタルカメラで試してみた。デジタルカメラは機種によつては一定間隔で自動的にシヤッターが切れるインターバルタイマーが内蔵されている。この機能を使えばカメラをいちいち下ろす必要はない。ならばデジタルカメラを風に付けければ遠隔装置がなくてもシヤッターを切ることができる。次第に空から写真を撮るスタイルが出来上がってきた。